



取手市歩こう会 会報 1月

「お知らせ」12月～1月末までの例会は中止といたします。

茨城県大井川知事は、県内の新型コロナウイルス感染者が急増し、感染拡大対策から茨城県が定める判断指標によるステージ3・ステージ4に該当する12市町は（土浦市・つくば市・つくばみらい市・牛久市・取手市・境町・かすみがうら市・阿見町・古河市・鹿嶋市・坂東市・常総市）コロナ感染拡大市町村に位置づけられ、12月13日まで住民の不要不急の外出自粛要請（他県への移動自粛）が発表されました。取手市においても、藤井市長より同様の要請が発表されました。又、県は要請期間の延長については要請が終わる直前に判断するようです。このことを受けまして、11月末に主たる役員にて緊急に検討いたしました。会員の皆様の安全を最優先する事とし、1月末まで活動を休止することになりましたのでご連絡いたします。最近、高齢者の感染比率が高い傾向で、感染すると重症化する方が多くなっています。年末・年始を迎え会食等の機会が多くなるとは思いますが、感染すると重症化するリスクも高まっています。コロナ感染対策を取り、コロナに感染しないよう充分気をつけましょう。

「例会報告」11月28日(土) 本土寺の紅葉ウオーク 天候 晴 参加者 38名

前日に、県が外出自粛要請が出された事もあり、今日の例会の扱いに中止すべきか大いに悩んだ。参加人数を見る、電車の乗車は10分弱である、終了を早める、少ない人数班別、会旗は出さない、静に歩くこととし決行しました。本土寺のもみじは、暖冬の影響か疎らでした。午後に訪ねた東禅寺のもみじは少し見頃でした。花・植物は難しい。境内で骨董市を熱心に見入る方もおられ、楽しい1日でした。水戸街道の北小金交差点近くのマツモトキヨシの創業店舗、創業者の住宅地(現在は資料館)前えを通り外から眺めました。



「お知らせ」 □ 令和3年度ウォーキング手帳は都合により1月中旬ごろお配りします。

「2月・3月・4月例会等の案内」・・・詳細は次号以降で連絡いたします。

- 2月6日(土) 間宮林蔵生家と記念館ウオーク
- 2月20日(土) 我孫子宿と古墳群ウオーク
- 3月6日(土) 王子と古河庭園ウオーク
- 3月20日(土) 草加松原遊歩道ウオーク
- 4月3日(土) お花見ウオーク(予定)
- 4月17日(土) 総会ウオーク(予定) 終了後総会予定



※ 新型コロナウイルス感染状況により、例会の行先変更や中止する場合があります。

「特集」 長久保赤水(なかくぼせきすい)について・・・江戸時代の地理学者



長久保赤水(1717～1801年)

長久保赤水は、常陸の国茨城県高萩市の農家の出身。幼くして両親・弟を亡くしたが、農業の傍ら勉学に励み、水戸藩6代藩主徳川治保に学問を講義する侍講に登用される。伊能忠敬の日本地図完成より42年も前に情報収集による精度の高い「赤水図」を作り庶民や後世の知識人に広めた。実測もしないで、各情報に情報を重ね修正を加え、縮尺を用いて主要道路に5952の地名等を刻み、彩色を施し、日本初の緯線と縦線を引いて、大阪にて(制作職人は大阪に多かった)出版された。幕末の志士、吉田松陰も旅に役立ったと手紙に記載されている。

伊能忠敬は自ら実際に各地を歩き歩幅で測量したことで有名である。伊能図は、幕府の命により作成されたため世に出ていなかった。(沿岸部を計測したため内陸部の地名及び取手の記載は無い)

長久保赤水は、内陸部の情報を地図に盛り込んだため、画期的な偉業であり庶民が旅の友として、大いに役立った。水戸藩のバックで幕府公認。幕末動乱期には無くてはならぬ指導者たちの必需品の一つであった。地元高萩市の有志の方々が「長久保赤水顕彰会・会長佐川春久会長」は、歴史上大きな役割を果たしているのにあまり知られていなかった」と永年活動されています。島根県竹島は戦後、GHQへ領土主権を主張した文章に添えられています。近年の日本国の領土関係から一昨年、内閣府が領土・主権対策室の常設展示室が整備された。赤水の資料を国の審議会が資料396点を国の重要文化財に指定するよう文科大臣に答申され、今年の9月正式に国の重要文化財に指定されました。

一昨年に、常設展示室に赤水関連が展示されたことから、長久保赤水顕彰会が、水戸徳川家ゆかりの地を歩くウォーキング大会を計画され、茨城県W協会が協力することとなり、東京に近い当会が2年間主担当し実施しました。展示室(日比谷公園)から皇居(東御苑)・小石川後楽園(上屋敷)・東大農学部(中屋敷)までの9kmコースと、希望者は隅田公園(下屋敷)まで14kmの2コースで実施しました。今年は、重要文化財に指定され是非実施したかったが残念ながら、コロナ感染関係にて中止となりました。顕彰会資料より引用。



改正日本輿地路程全図(1779年)

「ウォーキングメモ」 いばらきヘルスロードについて(4)・・・ヘルスロード表彰について・・・



- 1、ヘルスロード完歩賞・・・応募する前々年度までに指定されたコースを全て完歩すること。
- 2、ヘルスロードミニ完歩賞・・・応募する前々年度までに指定されたコースの3分の2以上のコースを完歩すること。
- 3、ヘルスロードロングウォーク賞・・・指定されたコースを重複ありで2,000km完歩すること。ただし、重複しないコースが10コース以上あること。
- 4、ヘルスロードリングラン賞・・・日常、車いすを利用されている方が、指定されたコースを100kmを完歩すること。※各賞の申請は、歩いたコース・日付・合計距離・氏名・住所等を記入したウォーキングカードまたは任意の用紙で、取手市役所保険センターか龍ヶ崎保健所へ申請して下さい。

「編集後記」□ 令和2年の1年間は、新型コロナウイルス感染拡大の為、外出の自粛要請が出され、例会は3月～9月までの6ヶ月間休会でした。夏過ぎから感染者が安定で推移している事と、経済を動かす観点からGOTOトラベルが始まった。ウォーキングも9月から例会を再開しいよいよと思っ居た所、11月から感染者が急に増加し再度外出自粛要請が出され、12月からの再び例会が休会となりました。感染者の年齢構成も世代に関係なく発症しています。子供などが家庭に持ち込むケースが多く報告されています。高齢者の方が感染すると重症化するリスクが高まるとか。新型コロナウイルスの全体像がまだ不明で、治療薬も未確定。ワクチン接種がアメリカ・イギリスで始まるらしいが日本はまだ先の事。早い鎮静化を願うばかりです。来年はきっと、コロナ対策が上手く行きそれぞれが明るい希望が見える気がします。それまで皆で頑張りましょう。□ 間もなく新年です。新年あけましておめでとうございますの気持ちになりませんが、ど一か会員の皆様方良い年でありますよう祈願しております。□ コロナ発生し間もなく1年、新しい生活スタイルにあきが来た昨今であります。例会が再開できますようになりたいと思っています。来年もど一ぞよろしく願い申し上げます。